

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年8月10日
作成 高齢者支援センター	鶴川1
作成者	矢島多佳子

1.開催日時	2022年7月29日	(金)	19:30	～	21:00	
2.会場	Zoomによるリモート会議					
3.主催センター	鶴川1	・	鶴川2	・		
4.参加人数	25					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	9人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	7人	(うち、医師	人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	8人
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input type="checkbox"/> その他	()	
6.開催テーマ	「コロナに負けない町、つるかわ」を目指して ～オーラルフレイルを考える～					
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>コロナ禍でフレイル状態の高齢者が増えているが、オーラルフレイル(口腔機能の低下)についてはまだ認知度が低く、医療・介護専門家も、その重要性を十分に理解できていない。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>オーラルフレイルの早期発見には、口腔歯科検診が有効だが、受診率を上げるには、医療・介護の専門家が、地域の人たちにどう伝え、どこにつなぐか？どんなツールが必要か？</p>					
8.会議の内容	<p>11月開催予定の圏域合同地域ケア推進会議に向けて、具体的なプログラム案を検討。戸羽歯科医師の基調講演に続き、2事業所(愛信園、ケアフルクラブ悠々園)からオーラルフレイルに対する取り組みや現状を述べてもらう。その後、多職種で「私たちが取り組めるオーラルフレイル予防」や、「高齢者の口腔機能歯科健診の受診率を高める方法」についてグループディスカッションを行い発表する形をとることになった。</p> <p>次回開催までに当日のアンケート案を作成し、現場の取り組み発表内容についてもあらかじめ共有をする。</p> <p>昨年から継続して実施しているフレイル予防リーフレット・レシピ配布の報告。なの花薬局管理栄養士が新たにレシピ作成に協力してくれることになった。</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>圏域合同地域ケア推進会議で多職種が集い、話し合いを行う中で、オーラルフレイルの早期発見と予防をそれぞれがどう行っていくかを検討していく。昨年度も「自分たちができる取り組み」を模索する中からフレイル予防リーフレット・レシピの普及活動が継続しているが、今年も同様に「何か」が生み出す為の働きかけを行う。</p>					